2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　株式会社　北川鉄工所　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　6317　　URL　https://www.kiw.co.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長執行役員　　(氏名)　岡野　帝男
問合せ先責任者　(役職名) 常務執行役員経営管理本部長　(氏名)　北川　和紀　(TEL) 0847(45)4560

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　　2026年12月３日
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　(アナリスト・機関投資家向け　)

(百万円未満切捨て)

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	33,974	16.8	3,265	137.8	3,446	158.8	2,629	11.6
2026年３月期中間期	29,083	2.3	1,373	241.6	1,331	81.4	2,355	535.9

(注) 包括利益　2027年３月期中間期　3,721百万円(　116.5%)　2026年３月期中間期　1,719百万円(△12.1%)

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	280.20	―
2026年３月期中間期	254.88	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	89,636	49,431	55.1
2026年３月期	84,912	45,962	54.1

(参考) 自己資本　2027年３月期中間期　49,425百万円　　2026年３月期　45,957百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	35.00	―	67.00	102.00
2027年３月期	―	50.00			
2027年３月期(予想)			―	85.00	135.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,700	12.5	4,800	78.6	4,900	92.5	3,600	15.1	383.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	9,650,803株	2026年３月期	9,650,803株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	195,552株	2026年３月期	399,282株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	9,383,793株	2026年３月期中間期	9,243,432株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料３ページ「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（表示方法の変更） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年４月１日から2026年９月30日まで）における世界経済は、AI関連投資や半導体需要の拡大が成長を牽引したものの、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇が各国の物価や企業コストを押し上げる要因となりました。国内経済は、輸出やデジタル化・省力化に向けた設備投資に支えられ緩やかな回復を続けましたが、物価上昇による家計への負担は重く金利上昇も相まって景気の下振れリスクに注視する必要があります。

このような経営環境のもと、当社グループの売上高は各セグメントとも好調に推移しました。特に産業機械事業では、荷役機械事業および立体駐車場事業において大型物件の売上を計上したほか、金属素形材事業も市況の回復に伴い増産となり、前年同期比で増収となりました。

営業利益も、産業機械事業が大型案件で想定を上回る粗利を確保したことに加え、金属素形材事業の売上が増加したことにより前年同期比で増益となりました。

当中間連結会計期間においては、当社グループのすべての事業で増収増益となり、最終的な当社グループの業績は、売上高33,974百万円（前年同期比 16.8%増）、営業利益3,265百万円（前年同期比 137.8%増）、経常利益3,446百万円（前年同期比 158.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益2,629百万円（前年同期比 11.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

キタガワ グローバル ハンド カンパニー（工作機器事業）

売上高は、国内市場では旋盤需要の高まり等を背景にチャックおよびシリンダの売上が増加しました。海外市場についても、ターゲット顧客での採用が進展したことから、5,447百万円（前年同期比 12.7%増）となりました。また、セグメント利益（営業利益）も、売上高の増加や仕入価格等の上昇に対する販売価格の改定などにより、369百万円（前年同期比 87.8%増）となりました。

キタガワ サン テック カンパニー（産業機械事業）

売上高は、荷役機械事業で大型特殊案件を含むクライミングクレーンの売上が好調に推移し、立体駐車場事業で大型物件の売上を計上したほか、コンクリートプラント事業のメンテナンス工事が堅調であったことから、当セグメント全体では12,919百万円（前年同期比 7.8%増）となりました。また、セグメント利益（営業利益）も、荷役機械事業および立体駐車場事業の大型物件で想定を上回る粗利を確保できたことから、当セグメント全体では2,048百万円（前年同期比 27.1%増）となりました。

キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー（金属素形材事業）

売上高は、自動車部品ならびに農業機械・建設機械部品が、市況の回復に伴う増産もあり一定の需要を維持しました。また、新規受注した自動車・産業機械・ロボット向け部品が寄与し、12,778百万円（前年同期比 12.3%増）となりました。セグメント利益（営業利益）も、販売価格の改定や不良率の改善、コスト構造改革の推進およびメキシコ子会社の収益改善等により674百万円（前年同期比 500.7%増）となりました。

キタガワ グレステック（半導体関連事業）

売上高は、世界的なAI半導体需要の増加を背景に、連結子会社である北川グレステック株式会社において半導体・電子部品向け装置およびハードディスク事業の売上が増加したほか、ダイヤモンド研磨剤等の消耗品も堅調に推移したことから、1,570百万円（前年同期比 108.4%増）となりました。また、セグメント利益（営業利益）も、事業拡大に向けた設備投資や増員等に伴う費用負担の増加はあるものの、売上高の増加により354百万円（前年同期比 5,255.8%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、売上債権の増加などにより、前連結会計年度末に比べて4,724百万円増加し、89,636百万円となりました。

負債は、未払法人税等の増加などにより、前連結会計年度末に比べて1,254百万円増加し、40,205百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加があり、前連結会計年度末に比べて3,469百万円増加し、49,431百万円となりました。純資産から非支配株主持分を差し引いた自己資本は49,425百万円となり、自己資本比率は55.1%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、2,811百万円の収入（前年同期は2,449百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益3,812百万円及び減価償却費1,545百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増減額1,931百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,196百万円の支出（前年同期は1,515百万円の支出）となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出1,590百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,398百万円の支出（前年同期は125百万円の支出）となりました。主な内訳は、配当金の支払額619百万円であります。

これらにより当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ228百万円増加（前年同期は679百万円の増加）し、11,655百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、直近の業績動向を踏まえ、2026年９月11日に公表しました業績予想の内容を修正しております。

詳細につきましては、本日（2026年11月13日）公表の「2027年３月期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,965	12,203
受取手形、売掛金及び契約資産	8,980	11,103
電子記録債権	5,840	5,659
商品及び製品	5,159	5,487
仕掛品	6,102	5,897
原材料及び貯蔵品	3,009	3,133
その他	1,073	1,357
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	42,114	44,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,388	8,285
機械装置及び運搬具（純額）	10,712	10,577
その他（純額）	6,248	6,603
有形固定資産合計	25,349	25,467
無形固定資産		
のれん	446	402
その他	523	533
無形固定資産合計	969	935
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	10,751	11,326
その他	5,727	7,080
投資その他の資産合計	16,478	18,406
固定資産合計	42,797	44,809
資産合計	84,912	89,636

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,820	4,494
電子記録債務	3,419	3,394
短期借入金	6,680	6,334
1年内返済予定の長期借入金	1,108	1,076
未払法人税等	310	1,092
賞与引当金	705	734
役員賞与引当金	27	―
製品保証引当金	54	46
その他	6,604	6,885
流動負債合計	22,731	24,058
固定負債		
長期借入金	8,382	7,808
退職給付に係る負債	4,208	4,322
その他	3,627	4,015
固定負債合計	16,218	16,147
負債合計	38,950	40,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	4,886	4,874
利益剰余金	24,590	26,593
自己株式	△754	△367
株主資本合計	37,363	39,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,505	3,156
繰延ヘッジ損益	△0	―
為替換算調整勘定	2,880	3,456
退職給付に係る調整累計額	3,207	3,073
その他の包括利益累計額合計	8,593	9,685
非支配株主持分	4	5
純資産合計	45,962	49,431
負債純資産合計	84,912	89,636

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	29,083	33,974
売上原価	24,245	27,000
売上総利益	4,838	6,974
販売費及び一般管理費	3,465	3,709
営業利益	1,373	3,265
営業外収益		
受取利息	7	10
受取配当金	81	85
持分法による投資利益	―	104
為替差益	―	23
スクラップ売却益	67	106
その他	73	106
営業外収益合計	229	437
営業外費用		
支払利息	161	189
持分法による投資損失	20	―
為替差損	37	―
減価償却費	37	―
その他	14	67
営業外費用合計	271	256
経常利益	1,331	3,446
特別利益		
固定資産売却益	2,184	―
投資有価証券売却益	―	448
特別利益合計	2,184	448
特別損失		
固定資産売却損	244	―
固定資産除却損	168	81
特別損失合計	412	81
税金等調整前中間純利益	3,103	3,812
法人税、住民税及び事業税	366	1,020
法人税等調整額	380	162
法人税等合計	746	1,183
中間純利益	2,356	2,629
非支配株主に帰属する中間純利益	0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	2,355	2,629

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	2,356	2,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	359	650
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△916	555
退職給付に係る調整額	△44	△133
持分法適用会社に対する持分相当額	△35	19
その他の包括利益合計	△637	1,091
中間包括利益	1,719	3,721
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,718	3,721
非支配株主に係る中間包括利益	0	0

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,103	3,812
減価償却費	1,497	1,545
のれん償却額	44	44
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	1
賞与引当金の増減額（△は減少）	△10	28
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	167	126
受取利息及び受取配当金	△88	△96
支払利息	161	189
持分法による投資損益（△は益）	20	△104
有形固定資産売却損益（△は益）	△1,939	―
有形固定資産除却損	168	81
投資有価証券売却損益（△は益）	―	△448
売上債権の増減額（△は増加）	385	△1,931
棚卸資産の増減額（△は増加）	574	△142
仕入債務の増減額（△は減少）	△731	628
未払消費税等の増減額（△は減少）	240	△4
その他	△658	△579
小計	2,933	3,149
利息及び配当金の受取額	117	118
利息の支払額	△155	△190
法人税等の支払額	△446	△266
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,449	2,811
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,838	△1,590
有形固定資産の売却による収入	690	30
投資有価証券の取得による支出	△3	△4
投資有価証券の売却による収入	0	454
持分法適用関連会社株式の取得による支出	△530	―
貸付金の回収による収入	387	1
その他	△220	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,515	△1,196
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	590	△261
長期借入れによる収入	60	―
長期借入金の返済による支出	△517	△481
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△230	△619
その他	△26	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125	△1,398
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129	12
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	679	228
現金及び現金同等物の期首残高	11,208	11,427
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,888	11,655

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、「投資その他の資産」に含めていた「退職給付に係る資産」は、金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。 この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「投資その他の資産」に表示していた16,478百万円は、「退職給付に係る資産」10,751百万円、「その他」5,727百万円として組み替えております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	キタガワグローバルハンドカンパニー	キタガワサンテックカンパニー	キタガワマテリアルテクノロジーカンパニー	キタガワグレステック	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,833	11,984	11,375	753	28,947	136	29,083
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	0	95	―	106	―	106
計	4,845	11,984	11,470	753	29,054	136	29,190
セグメント利益又は損失（△）	196	1,610	112	6	1,926	△56	1,870

(注)　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特機事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,926
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△56
全社費用(注)	△496
中間連結損益計算書の営業利益	1,373

(注)　主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他	合計
	キタガワグローバルハンドカンパニー	キタガワサンテックカンパニー	キタガワマテリアルテクノロジーカンパニー	キタガワグレステック	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,447	12,919	12,778	1,570	32,716	1,258	33,974
セグメント間の内部売上高又は振替高	45	0	83	－	128	－	128
計	5,492	12,919	12,861	1,570	32,844	1,258	34,102
セグメント利益又は損失（△）	369	2,048	674	354	3,446	268	3,714

（注）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特機事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	3,446
「その他」の区分の利益又は損失(△)	268
全社費用(注)	△449
中間連結損益計算書の営業利益	3,265

（注）　主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、従来「半導体関連事業」としていた報告セグメントの名称を「キタガワ　グレステック」に変更しております。当該変更は報告セグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報についても、変更後のセグメント名称で記載しております。